




令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」 運動・遊び大好き！オリパラ教育推進事業推進校 事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

学校名【岩国市立修成小学校】

1 実践テーマ	I・II・ III ・IV・ V (複数選択可)
2 実施対象者 (学年・人数)	対象学年：岩国市立修成小学校全校児童（14名） 岩国市周北小学校全校児童（8名）
3 展開の形式	○ 学校における活動 ・教科名（体育：一流アスリートによる陸上教室）
4 目標 (ねらい)	○ オリンピック・パラリンピック教育を推進し、運動・スポーツへの関心を高め、運動習慣の定着・改善を図るとともに、著名なスポーツ選手による講演やデモンストレーションから、自らの生き方について考えることができるようにする。
5 取組内容	<p><事前学習> 「学校司書との連携」「総合的な学習の時間での取組」 図書室に「オリパラ図書コーナー」を設置し、興味をもった児童が関連する本を手にとって読むことが出来るようにした。 また、3・4年生が総合的な学習の時間の福祉をテーマとした学習の中で、障害者スポーツやパラスポーツに関する調べ学習を行った。さらに「修成きらりんピック 2020」の企画の中で、「地域の方との交流をしたい」「地域のお年寄りと一緒に楽しめるスポーツはないか」と考え、パラスポーツの「ポッチャ」を行おうと、企画を進めた。</p>  <p><事業実施日> 「オリパラ教室①」10月26日(月) 講師 君嶋愛梨沙 氏（陸上短距離 ボブスレー スケルトン） 挑戦することの大切さや様々な経験が自分の財産になることなどを自身の経験をもとにわかりやすく話していただいた。その中で、夏季・冬季オリンピックの出場を目指しておられることを話され、子どもたちの君嶋選手を応援したいという気持ちとオリンピック・パラリンピックに対する興味・関心が高まった。 君嶋選手が実際にされているやり方をもとに、陸上選手のトレーニング方法を体験した。また、後日開催される運動イベントでリレーを行うことから、バトンパスの練習、チームに分かれてのリレー競技を行っていただいた。 君嶋選手と一緒に走ったり、リレーの作戦を考えたりする活動を通して、一流のアスリートを身近に感じ、運動に対する興味・関心がより一層高まった。 また、体力テストや持久走大会なども合同で実施</p>  <p><リレーの話し合いの様子></p>

	<p>するなど日常的に交流のある岩国市立周北小学校と合同で開催したことで、周北小学校児童のオリンピックや陸上競技に対する関心を高めることができた。</p> <p>「オリパラ教室②」11月6日(金) 講師 山口県レクリエーション協会より (3名)</p> <p>県のレクリエーション協会の方に、パラスポーツ「ボッチャ」のやり方を教わった。ルールや競技の始め方などをひと通りレクチャーしていただいた後、実際に投げてみる練習を行った。最後にゲームを行い、パラスポーツの楽しさを味わった。特に中学年の児童は、1週間後に行われる「修成きらリンピック 2020」で地域の方と一緒に「ボッチャ」を行う地域交流イベントを担当するので、今後の活動の見通しをもつことができた。</p> <p><事後学習> 「学校行事との関連づけ」(修成きらリンピック 2020 の開催)</p> <p>地域・保護者の方に自分たちががんばって運動している様子を見てもらいたい、お世話になった地域の方と一緒に運動で交流したい、との思いを実現するため、「修成きらリンピック 2020」を高学年児童が中心となって企画した。</p> <p>当日は、高学年児童が運動イベントを運営し、地域交流イベント(ボッチャ)は、中学年児童が運営を行った。事前の練習では、上手い出来ない場面を経験したが、当日の運営に生かし、成功を収めたことは児童の自信につながった。</p>  <p style="text-align: center;"><話し合いの様子></p>
6 主な成果	<ul style="list-style-type: none"> ○ オリパラ教室実施後、運動への意欲が高まり、休み時間等に進んで運動に取り組む児童が増えた。 ○ パラスポーツの運動教室を実施したことで、障害者スポーツへの関心を持ち、自分たちも地域のお年寄りと一緒にパラスポーツを楽しみたいという意欲を高めることができた。 ○ オリパラ教室で高まった意欲を事後の運動イベントにつなげたことで、「自分たちの力で取り組んでみたい」「地域の方と一緒に運動してみたい」と児童に主体性が育った。
7 実践において工夫した点(事業の特色)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事業実施後の地域交流イベントと関連させて進めたことで、児童のオリパラ教室への期待感の高まり、運動イベントへ向けた意欲・主体性の高まりなど、相乗効果がみられたこと。 ○ 岩国市立周北小学校との合同開催としたことで、より多くの児童のスポーツや運動に対する興味・関心が高まったこと。
8 主な課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新型コロナウイルス感染症への感染対策を行って実施したが、他校との交流や地域の方との交流を行う場合には、よりリスクを低減させる方法を工夫していかなければならない。 ○ 小規模校のため、集団でのスポーツ(ゲーム等)を自校のみで行うことが難しい。
9 来年度以降の実施予定	<ul style="list-style-type: none"> ○ より多くの児童にスポーツや運動に対する興味・関心をもってもらうため、小規模校ならではの取組(他校との合同開催、地域の方との交流など)を進めていく。

